

住宅リフォーム促進事業について 2人に話を聴きました

利用者に聴きました

補助事業で踏み切れたリフォーム
今では安心して暮らせています



小久保 信夫さん

以前から、電気給湯機器が古くなっており、いつ故障してもおかしくない状況だったので、不安な気持ちで生活していました。補助事業については前から回覧板を見て知っていたので、今年思い切ってリフォームしました。今では、安心して快適に暮らせています。リフォームして本当に良かったです。

ので、不安な気持ちで生活していました。補助事業については前から回覧板を見て知っていたので、今年思い切ってリフォームしました。今では、安心して快適に暮らせています。リフォームして本当に良かったです。

施工業者に聴きました

お客様の喜ぶ顔が、私の喜び
地域の発展にもつながり一石二鳥



(有)坂元ハウス
坂元 忠雄さん

仕事の依頼の半分以上はリフォームです。特に、古くなったから作り直したいと言うお客様は多いです。その時に、この事業を紹介すると、とても喜んでくれます。お客様の喜ぶ顔を見ると私まで嬉しくなります。みんなが喜び、さらには地域の発展にも繋がる、まさに一石二鳥の事業だと思います。

お客様は多いです。その時に、この事業を紹介すると、とても喜んでくれます。お客様の喜ぶ顔を見ると私まで嬉しくなります。みんなが喜び、さらには地域の発展にも繋がる、まさに一石二鳥の事業だと思います。

図2 住宅などリフォーム補助事業 実績表
※平成25年度9月現在

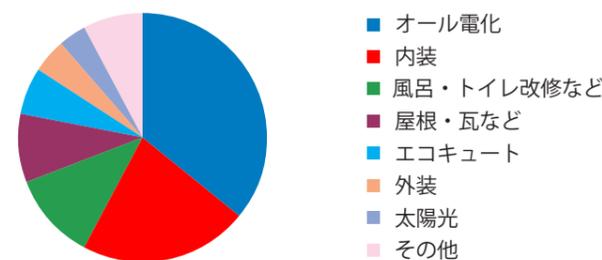
実施年度	16	17	18	19	20	21	23	24	25	合計
補助件数	249	138	110	119	80	70	130	184	※137	1217
施工業者数	91	63	37	42	32	27	60	57	※43	452

費用の10割を補助金 要望の声は大きい
リフォーム促進事業は、市内の事業者を利用してリフォームを行った人に対し、費用の10割（最高限度額15万円）の補助金を交付する制度です。リフォームへの要望は高く、本年度も当初予算が9月でなくなり、新たに補正

予算が組まれました。
「オール電化」が人気
事業開始から換算すると、補助件数は1217件、施工業者は述べ452件です。（図2参照）
また、その経済効果は大きく、補助金額約9700万円に対し、施工された工事金額は約

11億8000万円、約12倍となっています。申請された工事のうち、最も多いのは、利便性の向上と省エネにつながる「オール電化」。続いて「内装」「風呂トイレ改修など」です。（図3参照）
今、リフォームを検討している人、本事業を利用してリフォームしてはいかがでしょうか。
詳しい内容については、商工観光課（TEL23・1174）まで問い合わせください。

図3 住宅などリフォーム補助事業 工事内容の内訳
(平成25年4月から9月)



緊急経済対策住宅リフォーム促進事業

快適な住まいづくりをお手伝いします

もっと住みやすく、きれいな家に・・・。
その思いを叶える1つの方法が「リフォーム」。
市では、オール電化やバリアフリーなどの工事に対し補助を行っています。「緊急経済対策リフォーム促進事業」（以下、リフォーム促進事業）を紹介します。

図1 国土交通省の建築物リフォーム・リニューアル調査報告
(平成24年度上半期受注分)



高い省エネとバリアフリーへの関心
一日の多くの時間を過ごし、生活の中心となる「家」。より住みやすく、きれいにする一つの方法にリフォームがあります。
日本国内で行われているリフォームのうち、最も多いのは、「劣化や壊れた部位の更新・修繕」、続いて「省エネ対策」、「高齢者身体障害者対応」となっています。（図1参照）
全国的に、省エネルギーやバリアフリーへの関心が高いことが分かります。
小林市でも、「新築はできないが、少しでも住宅環境を良くしたいと依頼される高齢者は多いです」と有
限会社坂元ハウス会長の坂元忠雄さんは話します。
市では、地域経済の活性化や安心して生活できる環境をつくることを目的とし、リフォームを行った人に補助金を交付する「リフォーム促進事業」を実施しています。